

081	シンテッポウユリ(露地)
-----	--------------

1 前提

該当する地域	平坦地～中山間地
設定した経営規模	シンテッポウユリ 5 a、ブロッコリー 30 a、白ネギ 20 a、水稻 30 a
自家労働	2.5人
その他	①セルトレイ育苗

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		～～○-----◎～◎-----□□□□□□○～											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、○トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F) × (G) × 利率
作業場兼収納舎	木造	50 m ²	4,620,000	6	271,765	271,765	15	18,118	8	126,823	100	5,073
パイプハウス	6m×25m	1 棟	1,092,000	50	546,000	546,000	10	54,600	5	273,000	50	5,460
トラクタ	4WD・22ps	1 台	2,099,900	10	209,990	209,990	7	29,999	4	89,996	50	1,800
ロータリ	160cm	1 台	325,600	10	32,560	32,560	7	4,651	4	13,954	50	279
動力噴霧機	可搬式6.3ps	1 台	312,400	15	46,860	46,860	7	6,694	4	20,083	100	803
管理機	3.5ps	1 台	188,100	20	37,620	37,620	7	5,374	4	16,123	100	645
灌水ポンプ	3.4ps	1 式	143,220	50	71,610	71,610	7	10,230	4	30,690	100	1,228
背負式動力噴霧機	20%	1 台	92,180	30	27,654	27,654	7	3,951	4	11,851	100	474
軽トラック	660cc、4WD、350kg積	1 台	1,200,000	25	300,000	300,000	4	75,000	2	150,000	100	6,000
合計			10,073,400		1,544,059	1,544,059		208,617		732,520		21,762

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
シンテッポウユ	オーガスタEX	露地	28000本	水田転換畑	5a

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準						
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
						機械利 用時間	組 員 人 員	延労働 時 間		
作業名	(月/旬～月/旬)									
ハウス準備	12/中			人力	○ハウス内で育苗する。 ○本ば10a当たり70㎡のセルトレイの置き場所が必要。	0.1	2	0.7		
播 種	12/下～1/上	種子 200穴セルトレイ 水稻育苗箱 メロミックス350 ポリフィルム (150cm幅) ポリフィルム (200cm幅) トンネル支柱	56,000粒 280枚 280枚 1,000ℓ 55m 60m 60本	人力 灌水ポンプ	○翼は軽く除去し、用土を詰めたセルトレイに播種後、ごく薄く用土で覆土する。 ○底面吸水で十分吸水させる。 ○ハウス内にトレイを並べ、透明ポリフィルムをベタ掛けし、さらに透明ポリフィルムでトンネルをする。	0.5	2	3.0	ガソリン	0.5
播種後の管理	1～4/下			人力	○発芽後は速やかにベタ掛けのポリフィルムを取り除く。					
灌水				灌水ポンプ	○発芽後は1～2週間に1回程度午前中に十分灌水する。	1.5	1	3.0	ガソリン	1.5
温度管理					○発芽までは15～20℃、発芽後は15℃を目安にトンネルやハウスサイドを開閉して換気する。 ○定植2～3週間前からハウスサイドを開放し、外気にならす。		1	7.5		
追肥		キッポ青	1.5ℓ	灌水ポンプ	○追肥は液肥を4回施用する。	0.8	1	0.8	ガソリン	0.8
病虫害防除		ダコニール1000 アトマイザープロフル	15ml 3ml	背負式噴霧機	○葉枯病の防除を月1回程度行う。 ○3月にはアブラムシの防除を行う。	0.3	2	1.2		
本ばの準備	3/下～4/中	堆肥 セルカフフレンド ミネラル宝素 LPコート140 バスアミド微粒剤 被覆用古ビニール	10t 160kg 160kg 160kg 20kg 10a分	トラクタ・ロータリ 管理機 軽トラック	○定植1ヵ月前には基肥を投入し、耕耘する。 ○畦幅100cm、通路50cmに畦を作る。 ○雑草防止のため、バスアミドを畦表面に散布しレーキ等で軽く土と混和した後、古ビニールで覆う。	0.5 1.0	1 1	0.5 1.0	軽油 ガソリン	4.5 1.0
灌水施設設置	4/下	灌水チューブ	700m	人力 灌水装置	○灌水チューブを設置する。 ○定植前に十分灌水する。	1.0	2	4.0	ガソリン	1.0
定 植	4/下～5/上			人力	○本葉2～2.5枚で定植する。 ○株間12cm、条間12cm、8条植え10a当たり定植本数40,000本。		2	64.0		
ネット張り	4/下～5/上	フラワーネット (12cm×12cm、8目) (4年間使用) 支柱700本 (4年間使用)	1,300m	人力 軽トラック	○倒伏防止のため、フラワーネットを2段張る。 ○長さ1.5mの支柱を2mおきに立てる。	1.0	2	16.0	ガソリン	1.0
不織布の被覆	4/下～5/上	不織布 (2年間使用)		人力	○活着促進のため、10cm程度に上げたネットの上に不織布をかける。		1	5.0		
		キッポ青	4ℓ	灌水装置	○定植後活着するまで灌水がわりに2～3回液肥を施す。	2.0	1	2.0	ガソリン	2.0

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 員 人 員	延労働 時 間	
マルチ張り	4/下～5/上	シルバーポリフィルム	幅30cm× 長さ1,300m	人力 軽トラック	○雑草と乾燥防止を兼ねて、畦肩部分 をシルバーポリフィルムで被覆する。	1.0	2	8.0	ガソリン 1.0
灌 水	4/下～8/中			灌水装置	○生育初期は乾かさない。 ○生育中は乾燥したら十分に灌水する。 ○夏季は乾燥がひどいときには、1回 の灌水量を多くする。	12.0	1	3.5	ガソリン 12.0
追 肥	5/下、6/中	有機化成A801	20kg	人力	○肥切れしないように追肥する。		1	1.0	
ネット上げ	6/上、6/下、 7/中			人力	○生育につれ、遅れないようフラワー ネットを上げていく。		2	3.0	
病虫害防除	4/下～8/中	ジェイエース粒剤 ダコニール1000 トップジンM水和剤 フルビカフロアブル アトマイザーフロアブル ICボルドー66D ジェイエース水溶剤 アフェットフロアブル ピラニカEW コテツフロアブル	6kg 300ml 100g 450ml 450ml 3kg 600g 450ml 150ml 300ml	動力噴霧機 軽トラック	○葉枯病、アブラムシ類、ハダニ類、 アザミウマ類が多発するので予防 散布を徹底する。	8.0	2	18.0	ガソリン 16.0
切り花、出荷	7/中～8/下	ハサミ パケツ ダンボール箱 クラフトテープ 結束ゴム ラップフィルム	3丁 10個 490箱 23個 2,800本 2,800枚	人力 軽トラック	○蕾が膨らみ、やや白くなったら採花 する。 ○1リン、2リン、リン付き(3～5リン)、多リン (6リン以上)に分け、10本を1束に してゴムで結束する。 ○花を上向きにまとめてラッピングする	10.0	2	300.0	ガソリン 8.0
後片付け	9/上			ロータリ	○球根掘り上げ後、耕うんする。	0.5	1	16.0	軽油 2.5
合 計								466.2	

5 経営試算(10a当たり)

区分		科目	金額	説 明
粗収益		主産物価額③	2,296,000	生産量①：28,000 本 単価②： 82 円／本
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		副産物価額④	0	
		計 (A)	2,296,000	
生 産	生産原価	種 苗 費	261,800	
		肥 料 費	145,899	使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	76,991	〃
		諸 材 料 費	226,193	〃
		動力光熱費	11,198	
		農 具 費	63,220	機械負担価額×4％
		建物等修繕費	23,645	建物・構築物負担価額×1％
		賃 料 料 金	0	
		共 済 掛 金	2,020	
		雇 用 労 賃	0	
		減価償却費⑤	417,234	別表のとおり
		土地改良費	8,750	
		支払地代⑥	0	
		小計 (B)	1,236,949	
費	販売費一般	出荷資材費	147,080	
	管理費	販 売 諸 費	573,804	
		諸税負担金	42,203	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	6,644	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	7,539	借入資本利子率2％
		小計 (C)	777,271	
	経 営 費 (D)		2,014,220	注) (D) = (B) + (C)
家族労働費見積額 ⑧		814,060	農 従 労 働 時 間： 466.2 生産管理労働時間 160.0 1,300 円／時間	
支払利子・地代算入生産費(E)		2,828,280	主産物単位当たり 101 円／1本 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本	流動資本利子⑨	48,070	注) ⑨= ((E)－⑤－⑦) ／2×0.04	
	固定資本利子	43,524	利子率4％	
自 作 地 地 代 (G)		11,000		
全算入生産費 (H)		2,930,874	生産物単位当たり 105 円／1本 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)		281,780	時間当たり 450 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)		12	注) (J) = (I) ÷ (A) ×100	
農企業利潤 (K)		-634,874	注) (K) =③- (H)	
家族労働報酬 (L)		179,186	時間当たり 286 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)		-532,280	注) (M) = (I) -⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
育苗用ハウス準備																													0.7						0.7		
播種	1.5																																1.5	3.0			
灌水			0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3																						3.0			
温度管理		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																							7.5			
追肥					0.2		0.2		0.2		0.2																							0.8			
病虫害防除					0.4			0.4			0.4																							1.2			
本圃準備									8.5		1.0																							9.5			
灌水施設設置												4.0																						4.0			
定植												32.0	32.0																					64.0			
ネット張り												8.0	8.0																					16.0			
不織布管理												3.0	2.0	2.0																				7.0			
マルチ張り												4.0	4.0																					8.0			
灌水												0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3										3.5			
追肥															0.5		0.5																	1.0			
ネット上げ															1.0		1.0		1.0															3.0			
病虫害防除														1.0	1.0	1.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0											18.0			
切り花・出荷																				10.0	70.0	100.0	70.0	50.0										300.0			
後片付け																									16.0										16.0		
計	1.5	0.5	0.8	0.8	1.4	0.8	1.5	1.7	10.0	1.3	2.9	51.8	46.5	3.3	1.8	2.3	3.6	4.1	3.1	14.1	71.3	101.3	71.3	50.3	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.5	466.2	

生産管理労働時間

(160.0)